

2022年度 事業報告書

2022年6月1日から2023年5月31日まで

特定非営利活動法人 チャリティーサンタ

1 事業の成果

2022年度を振り返って

2022年は、感染症対策を講じつつも、通常のサンタクロース訪問活動の形式に徐々に戻していきましたが、クリスマスイブの活動当日の感染拡大や爆弾低気圧（大雪）の影響で、参加ボランティア人数は前年よりやや減少という結果となりました。（2021年度：2,015名→2022年度：1,917名）

一方、支部でのクリスマスに家庭へ直接訪問する活動においては、全国30都道府県で1,603家庭（昨年実績1,587家庭）の子ども達へプレゼントと思い出を届けることができ、その内、困難を抱える家庭の数は659軒（昨年実績：607家庭）となりました。

昨年度に引き続き、準備段階等で新型コロナの影響を受ける中、ボランティア同士が親睦を深める機会の減少は、運営スタッフの定着化およびノウハウの継続に大きな課題を残しています。訪問活動の品質維持のためにも、今後の活動においては対面訪問や対面での講習会の実施を充実させ、コロナ禍で得たオンライン活用の知見の良いところを残しつつ、ボランティアコミュニティとして「参加しやすさ」を重視した社会参画への再一步を踏み出せるような団体であることを目指していきたくと考えます。

上記の活動に伴い、活動の規模として対困窮家庭を対象とした事業の拡大が顕著であったため、既存の定款の事業内容を修正し、定款上の事業内容の変更手続きを行うなどの整理を行いました。

（1）ケーキ店との連携事業「シェアケーキ」の本格化

昨年調査を実施した「誕生日のあり方」に対する支援として、地域のケーキ店と連携した「シェアケーキ」事業を本格的にスタートさせました。約3,000の子育て世帯に調査を実施し、「一年の行事の中で、最も大切なものは子どもの誕生日であること」、「困窮家庭において誕生日ケーキは何よりも優先したいもの」ということが明らかになりました。その調査結果を元に全国のケーキ店及び全国に宅配ケーキ事業展開するCake.jp社との連携が実現し、助成金・継続寄付などを募り、ホールケーキのある誕生日のお祝いを諦めた親子（1,705人の児童）にケーキを届けることができました。

（2）企業連携～ブックサンタは目標5万冊を大きく上回る7.5万冊を突破～

2022年のブックサンタは、目標5万冊でスタートしましたが、結果として前年比215%の75,813冊の寄付が集まりました。2022年は、過去最大のメディア掲載数となり、特にNHKニュースウォッチ9で約9分の特集されたことで、12月下旬に大きな反響がありました。

また、日本にいるウクライナ避難者の子どもや台風や豪雨により被災した日本の子どもたちにも届けました。年明け以降に届いた本は、子ども達への誕生日プレゼント（毎月実施）や入園入学のお祝い、次のクリスマス等にも活用されます。

昨年から課題となっている本の管理と活用までの準備として「ブックサンタ ライブラリー」を設置しましたが、送付されてくる書籍の数が予定より大幅に上回ったこと、クリスマス時期に集中して

蔵書が増えること、本を希望する受益者と寄付される本の対象年齢のミスマッチなど新たな課題が出てきています。そのため、2023年度は、ライブラリーの拡張、書籍の発送時期の分散、特に不足する小学生世代に対応するための対策をするなど、幅広いジャンルの本の寄付を呼びかけ、より多種多様な「ただ1人の君」へ向けた選書に努めていこうと考えています。

(3) 行政・他団体との協働を通じた困窮家庭の支援について

2019年度に当法人が実施した「子どもの貧困にみる体験の格差」の調査の中では、79%の家庭が「子どもが希望してもできない体験活動があった」と答え、その内訳では「習いごと」が51%を占めていたことがわかりました。

このような実態を踏まえ、単発の体験のイベントだけではなく、習い事のように継続した体験の機会を増やしていくため、2022年は公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンと連携し、「子どもの体験奨学金ハロカル」の地域コーディネーターを努め、事業推進を行うことになりました。

現在は、元々協働で事業を行っている岡山市と連携し、公民館講座の受講料を奨学金として支払うことで、子ども達が通えるように支援を行っています。

公民館に着目したのは岡山市では中学校区に1つあり、比較的家庭が通いやすく、地域との繋がりや居場所になっていくことが目指せると考えたからです。地域の大人も子どもたちに向けて働きかける機会の創出に繋がっていくことを目指し、今後も他団体や行政機関と一緒に連携を行いながら子どもの体験格差の是正に向けて動いていきます。

2 事業の実施に関する事項

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数
チャリティーイベントに関する企画運営事業	クリスマスイブにサンタクロースが訪問するチャリティー企画を運営実施	(準備) 通年 (本番) 12月24日	全国30都道府県42地域	約500名	子どもを持つ一般家庭・子育てサークルなど	訪問家庭数: 981件 訪問児童数: 2,928名 ※施設なども含む ボランティア数: 1,917名
子どもを持つ困窮家庭に対する体験支援の企画運営事業	チャリティーサンタが企画運営する事業に於いて、子どもを持つ困窮家庭は原則無償とする取組 (通称: ルドルフ基金事業)	通年	全国	10名	子どもを持つ困窮家庭	支援人数: 8,600人
チャリティーグッズに関する企画運営事業	・サンタクロースから手紙が届くチャリティーグッズ販売 ・ネパールで作ったフェルトマスコット販売	(準備) 通年 (実施) 11月～12月	東京都および全国	10名	グッズ購入者	購入者: 約600名
子どもの体験活動支援事業	子どもたちに向けての体験イベントの企画運営	通年	湘南・香川・大分・宮崎他	約50名	子育て世帯の子どもと保護者	約100名
スタディーツアー事業	実施なし	—	—	—	—	—

市民の社会参画の機会提供及び推進を図るための企画運営事業	ボランティア参加や社会参加を促すための講演会の開催等	通年	全国	2名	ボランティア活動に関心がある一般市民	受講者:350 約名
調査研究、情報収集、情報提供及び啓発事業	岡山親子応援メールの運営	通年・毎週	岡山	3名	子どもを持つ困窮家庭	対象者:約 3,000世帯